

いつも一緒に 富山のペットたち

エキゾチック動物と聞くと、どんな動物だろうと疑問に思われる人が多いと思います。

一般には犬、猫以外の動物を指します。ウサギやフェレット、ハムスター、ハリネズミ、鳥、亀などで、爬虫類(トカゲ、ヤモリ)、両生類(カエル、サンショウウオ)も含まれます。産業動物(牛、馬、鶏)は入りません。

最近では多くの動物がペットショップやインターネットで、安価で簡単に購入できます。エキゾチック動物



西岡動物病院長
(高岡市出来田)

西岡 満

を飼育するときは、生態や習性を理解し、きちんと飼育できるか判断することが大切です。不適切なケージや食餌、温度、湿度、照明などにより、病気を発症させるケースがとて多いからです。安易に飼うことはやめましょう。

エキゾチック動物の中には、法律(ワシントン条約、特定外来生物及び動物愛護法に規定する特定動物の飼養許可など)に關係するものがあることも理解した上で、飼育しなければなりません。

スーノース(人獣共通感染)

エキゾチック動物



体の色が美しいインコ。鳥類は定期的に体重を量り、健康状態を把握しよう



子どものケツメリクガメ。成長すると甲長80センチにもなる

生態理解し飼育を

症)にも気を付けましょう。必要以上の接触をしない、食事を口移しで与えない、動物を触った後はよく手を洗う、ケージはこまめに掃除をして清潔に保つ—といった点に注意してください。

ペットを飼う場合、健康診断をお勧めします。「動物病院の獣医は、どんな動物も診察できる」と思っている方が多いのですが、そうとは限りません。動物病院で健康診断を受ける際

は、電話やホームページで、飼っている動物を診察してもらえるか、確認した上で来院してください。

一般によく飼育されている小鳥と亀について、お話しします。小鳥の病気は、早期発見が重要です。異常は毎日の観察で見つかることが多いので、掃除の際、ふんの状態をよく観察するようにしましょう。ふんは健康状態のパロメーターです。量や下痢の症状、採食状態から、消化器系の異常や内臓の病気が分かります。

飼いに慣れていない鳥は、1週間〜10日ごとに体重測定することを勧めます。健康状態が盛んで、病気のとき、拒食状態になるとすぐに死んでしまうことがよくあります。早めに病気を発見してあげてください。亀を飼うときは、水生なのか陸生なのか、本来の生息環境を知った上でケージの環境を作り

ます。温度と湿度管理が重要で、生息地の気候を再現するのが理想です。体温調整や、カルシウムを吸収するためのビタミンの合成に太陽光(紫外線)も必要です。カメは環境温度によって体温を調整する変温動物です。ケージにスポットライトやヒーターを入れましょう。草食性、雑食性、肉食性があり、間違えた食事は栄養障害を招きます。ペットショップでは、子ガメで売られていることがほとんど

です。成長すればミドリガメでも甲長約25センチになります。陸生

ガメのケツメリクガメは甲長80センチにも成長する巨大ガメです。寿命はミドリガメで20〜30年、リクガメは50年、100年以上長生きした記録もあります。最後まで責任を持って飼えるのか判断した上で飼育してほしいものです。

現在、さまざまな種類の動物が、輸入や繁殖で簡単に手に入ります。飼育できなくなると放置したり、野外に逃がしたりすることが絶対にならないようにしましょう。国内の野生在来種の生態系に大きな影響を与える恐れがあります。

「いつも一緒に 富山のペットたち」は、毎月第一木曜日に掲載します。